

# 豊庄だより



第 618 号 2020 年6月 15 日

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達

今年の 4 月、5 月の誕生会は新型コロナウイルスの影響で中止・延期をせざるを得なくなり、2 カ月遅れの 6 月 12 日（金）に合同という形をとって行いました。2 カ月間の誕生者の合計は 22 人、通常のやり方ですと 30 分を大幅に超過することが予想され、子どもたちだけ、保護者の参加なし、歌の発表は、ゆり、



ひまわり組

ひまわり組に制限することにし、時間の短縮をはかりました。今回はいつものようなフルバージョンではありませんでしたが、久しぶりに見るステージで歌う子どもたちの姿に接し、やはりこうした行事にとりくんでいくことで、子どもたちは成長していくんだなと強く感じました。

今後、感染状況を見ながら、少しずつですがとりくみの枠を広げられていけることを願っています。

今年度は短時間入園式に始まり、4 月誕生会、親子バスハイク、5 月誕生会、保育参観・懇談会・・・と、これまであたりまえのように行ってきた行事ができない日々が続いています。どの行事も大切ですが、なかでも保育参観・懇談会ができなかったのは本当に残念でした。毎月の誕生会で、保護者に出席を呼びかけ、誕生会やクラスの様子を見ていただいています。子どもたちの午睡の時間を使ったホールでの懇談会は、色々な悩みを出し合う中で、それに対する意見交換の場になっていて、大切にしているとりくみの一つです。夜寝ない、イヤイヤ期、おむつが取れない・・・等、初めて保育園に子どもさんを預けるようになった方の言葉を、先輩の保護者が自分の体験を語り、あつと言う間の一時間。私もできる限りその場において、このやりとりに耳を傾けています。こうした時間、とても良いことだと思い、4 年前から、「これを、保育園全体でできないか」と考え、6 月の保育参観の



つゆちゃんの虫歯予防

後に、何人かのお父さん、お母さんに自分の体験を語っていただき、全体でも意見交換をする場を作りました。様々なことが語られていますが、昨年の「ワン・オペ」、一昨年の「小 1 の壁」の話はとても印象に残りました。懇談会の終わりに、「皆さんの感想をお寄せください」と声掛けをしていますが、毎年、多くの感想が寄せられ、懇談会の後の「豊庄だより」は数回に渡って紹介してきました。今年はこの一連の取り組みができなくなり、とても残念に思っています。



虫歯はいやだ〜